

2025年2月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、総じて弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2025年2月19日公表）において、「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」との判断が維持された。個別項目では、「輸出」において判断が引き上げられる一方で、「輸入」では判断が引き下げられた。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に1月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

① 需要動向に関して、「個人消費」、「設備投資」、「公共投資」、「住宅建設」に関する判断が維持される一方で、「輸出」については、韓国・台湾向けの半導体製造装置や中国向けの工作機械が好調なことから、判断が引き上げられた。また、「輸入」については、スマートフォン等の輸入減少もあり、判断が下方修正された。

② 企業活動に関して、「生産」「業況判断」「企業収益」「倒産件数」に関する判断がいずれも維持された。

③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。

④ 物価に関しては、「国内企業物価」については、「緩やかに上昇している」、「消費者物価」については、「上昇している」との判断が維持された。

⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において足踏みが見られるものの、持ち直している」との判断が維持された。ただし、地域・国別では、英国において消費や設備投資、生産の減少から「景気は持ち直しに足踏みが見られる」との判断に引き下げられた。

和歌山県の情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（1月）は、前年同月比1.9%増となり、3か月連続で前年を上回った。近鉄百貨店和歌山店の販売額（1月）は、前年同月比0.5%減だったが、野菜価格・米価格の高騰などもあり、スーパー販売額は増加した模様。

新車販売台数（軽自動車〔乗用〕含む、1月）は、前年同月比13.4%増となり、4か月ぶりに前年を上回った。前年同月は、大手自動車メーカーによる認証不正問題で販売台数が大きく落ち込んでおり、今回の増加については、その反動増と考えられる。

新設住宅着工戸数（1月）は、前年同月比15.6%減となり、3か月ぶりに前年を下回った。「持家」が同19.8%減、「貸家」が同16.7%減と減少した。

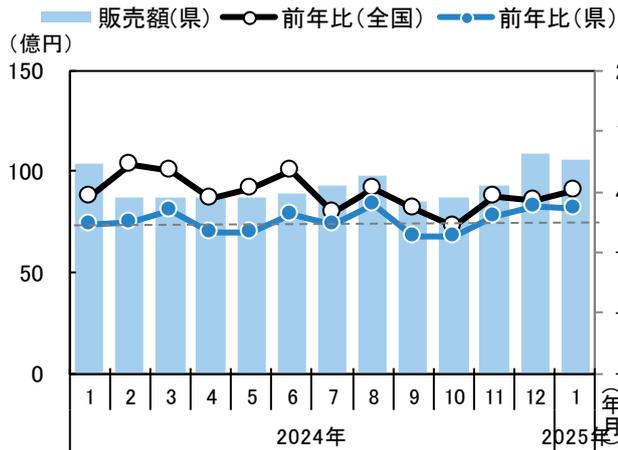
② 企業活動面では、鉱工業生産指数（12月）は、前月比7.8ポイントの下降（下降は4か月ぶり）。化学工業を中心に、やや持ち直しの動きも見られていたが、機械工業、化学工業、食料品工業などの主要業種において、生産指数が下降した。

公共工事請負金額（1月）は、前年同月比40.7%減と大きく減少した。前年4月～1月累計での請負金額は前年同期比4.1%減となっている。地域別の請負金額では、和歌山市地区、湯浅地区、新宮地区などで前年同期に比べて増加しているものの、前年に庁舎建て替え工事等があった田辺地区、御坊地区では大きく減少している。

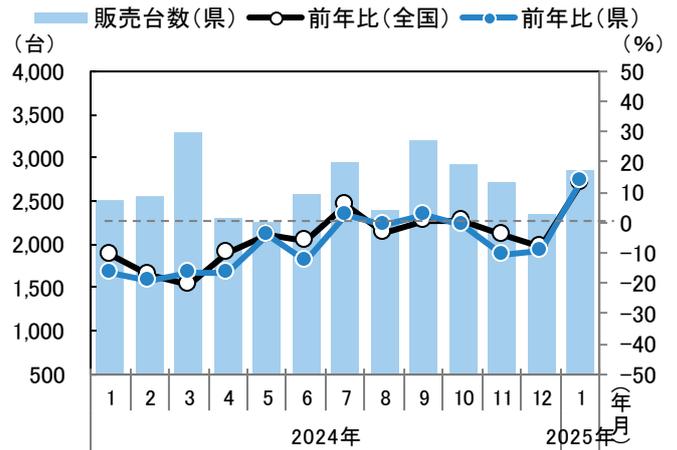
帝国データバンクが発表している「**県内 TDB 景気 DI (1月)**」は、前月から2.4ポイント下降した。製造業、卸売業、運輸・倉庫業の景気 DI がともに下降。前年8月以降、県内景気 DI は一進一退の状況が続いている。

③ 雇用面については、「**有効求人倍率 (1月)**」は、前月から横ばいの1.13倍となった。県内の有効求人倍率は、長らく横ばい傾向にある。業種別に見た新規求人数では、運輸業・郵便業で求人数が増加傾向にある一方で、卸売業・小売業では減少傾向が見られる。このような状況を受けて、和歌山労働局は、「緩やかに持ち直しの動きがみられるが、求人の一部に足踏み感がある」との判断を維持しており、「物価上昇等が雇用に与える影響に注意する必要がある」と指摘している。

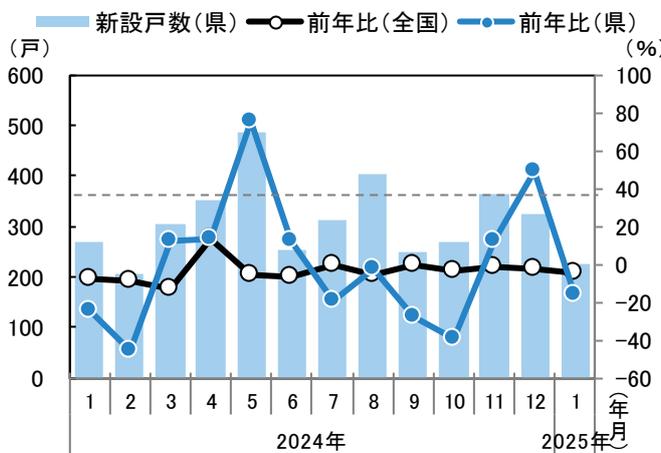
百貨店・スーパー販売額



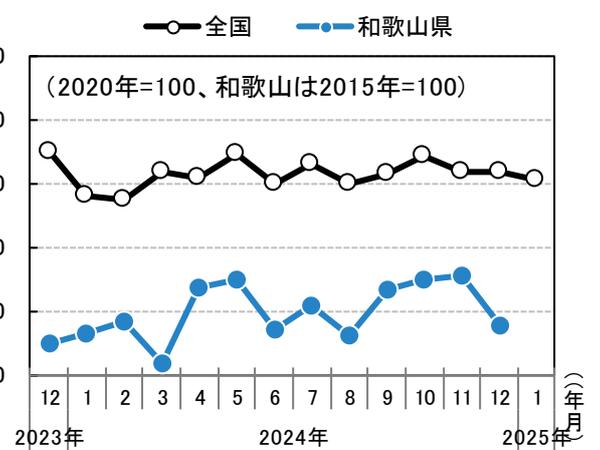
新車(登録車+軽自動車)販売台数



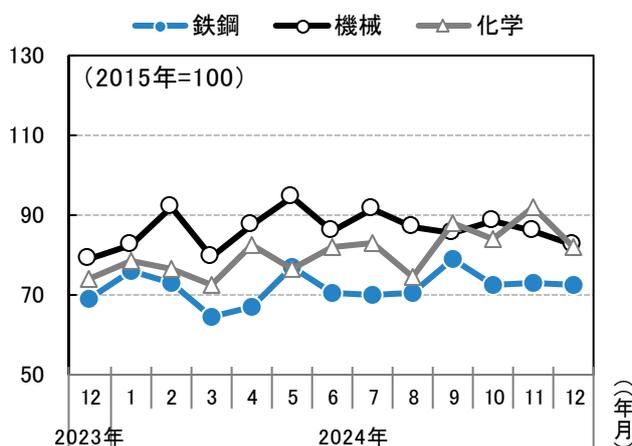
新設住宅着工戸数



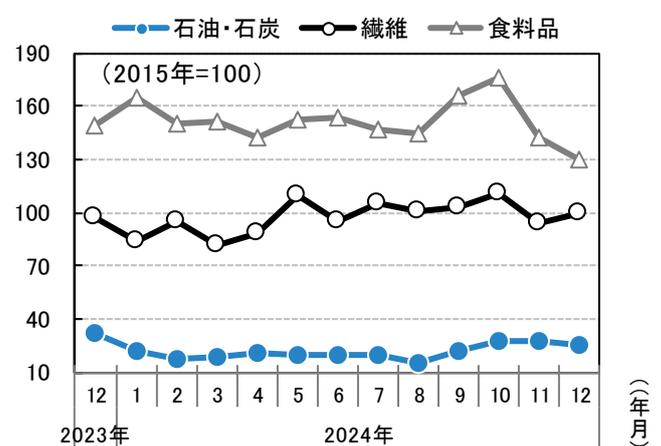
鉱工業生産指数



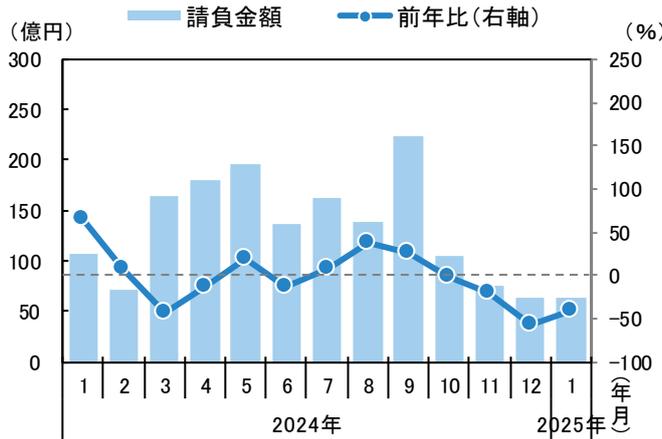
鉱工業生産指数(和歌山県)



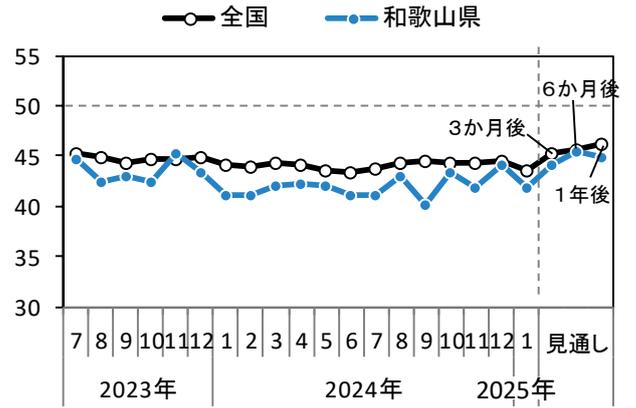
鉱工業生産指数(和歌山県)



公共工事請負金額(和歌山県)

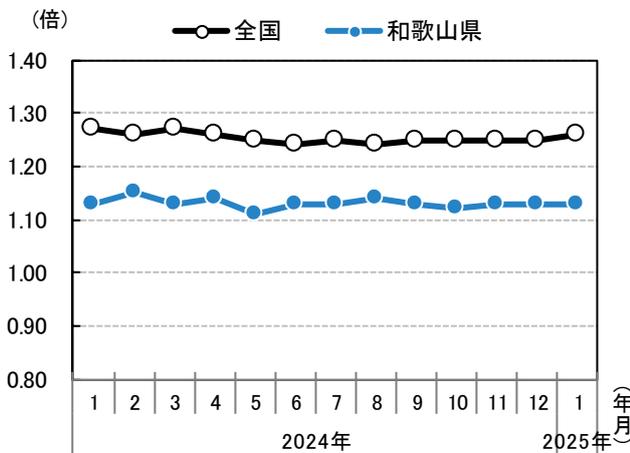


TDB景気DI (判断の分れ目は50)



(資料)榊帝国データバンク

有効求人倍率



(1) 個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2023年12月	106.2	2.6	-1.5	2,589	6.6	-4.0	218	-4.0	-50.9
2024年1月	104.1	3.3	-0.2	2,510	-10.9	-16.3	269	-7.5	-24.0
2月	86.7	7.6	0.0	2,566	-17.2	-19.4	205	-8.2	-45.8
3月	87.2	6.9	1.5	3,283	-20.5	-16.7	305	-12.8	12.5
4月	87.2	3.0	-1.3	2,301	-10.1	-16.4	354	13.9	13.5
5月	87.1	4.4	-1.5	2,256	-4.2	-4.0	488	-5.3	75.5
6月	89.4	6.9	1.1	2,590	-6.2	-12.9	253	-6.7	12.4
7月	93.0	1.3	-0.4	2,940	5.6	2.6	314	-0.2	-19.5
8月	98.3	4.5	2.3	2,390	-3.6	-0.8	404	-5.1	-2.7
9月	85.5	1.8	-2.0	3,210	0.6	2.5	249	-0.6	-28.0
10月	86.9	-0.6	-1.8	2,915	0.7	-0.9	269	-2.9	-39.7
11月	92.9	3.3	0.7	2,717	-4.4	-10.9	364	-1.8	12.0
12月	108.5	2.8	2.1	2,342	-8.0	-9.5	326	-2.5	49.5
2025年1月	106.1	4.1	1.9	2,847	13.3	13.4	227	-4.6	-15.6

(2025年3月4日に取得可能な資料より作成)

(2) 企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2023年	103.9	89.8	78.3	92.0	91.2	86.8	104.0	139.4	1,711.6	8.0	
2023年12月	105.0	75.0	68.7	78.8	73.8	31.5	96.9	148.5	143.9	225.0	43.3
2024年1月	98.0	76.3	75.9	82.2	78.5	21.5	83.9	164.4	107.7	65.4	41.1
2月	97.4	78.4	73.0	91.9	76.4	17.1	95.1	150.5	71.5	8.8	41.1
3月	101.7	71.7	64.1	79.5	72.4	18.0	81.6	151.3	164.9	-42.2	42.0
4月	100.8	83.5	66.8	87.2	82.1	21.0	88.7	142.4	180.4	-12.3	42.2
5月	104.4	85.0	76.7	94.1	76.4	19.1	110.0	152.7	196.1	20.3	42.1
6月	100.0	76.9	70.5	85.6	82.0	19.9	95.5	153.2	135.9	-12.5	41.2
7月	103.1	80.9	69.9	91.3	82.9	20.1	104.7	146.3	163.4	8.6	41.1
8月	99.7	76.2	70.5	86.9	74.5	15.2	100.5	144.2	139.5	37.2	43.0
9月	101.3	83.4	78.9	85.4	87.9	22.1	102.8	166.0	223.2	26.2	40.2
10月	104.1	85.0	72.4	88.3	83.8	27.6	110.8	176.2	104.9	-1.5	43.4
11月	101.8	85.5	72.6	85.7	91.9	28.0	93.5	141.9	74.7	-19.0	41.9
12月	101.6	77.7	72.5	82.2	81.7	25.0	99.4	129.9	63.8	-55.7	44.2
2025年1月	100.5								63.9	-40.7	41.8

(注) 鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2025年3月4日に取得可能な資料より作成)

(3) 雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,340	14,409	14.7	18.2
2023年12月	1.27	1.11	16,322	14,731	13.0	15.4
2024年1月	1.27	1.13	16,533	14,662	10.8	11.8
2月	1.26	1.15	16,904	14,666	14.1	18.3
3月	1.27	1.13	16,557	14,611	17.1	24.2
4月	1.26	1.14	16,466	14,458	16.5	19.3
5月	1.25	1.11	16,310	14,640	15.3	21.3
6月	1.24	1.13	16,504	14,627	14.5	17.7
7月	1.25	1.13	16,433	14,516	13.2	16.5
8月	1.24	1.14	16,484	14,442	12.6	13.7
9月	1.25	1.13	16,340	14,492	12.7	17.7
10月	1.25	1.12	16,265	14,532	14.5	16.4
11月	1.25	1.13	16,439	14,607	13.2	17.0
12月	1.25	1.13	16,484	14,619	12.0	14.7
2025年1月	1.26	1.13	16,565	14,600	10.2	13.5

(2025年3月4日に取得可能な資料より作成)

(注1) 有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2) 「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。